

第18回いき粋墨俣

つりびな小町めぐり 2026

生活デザイン科3年 ファッションコース

令和8年2月21日(土)から3月8日(日)まで美濃路墨俣宿一帯で開催され、今年も卒業研究作品発表会で展示した作品を岐島屋にて出展しました。



< つまみ細工 >

小さく切った正方形の布を折りたたみ、花や葉を形作る技法で、主に「角つまみ」「丸つまみ」の基本的な技法があり、これらを組み合わせて様々な形を作りました。

SDGsの観点から、古布を再利用しました。素材を無駄にせず、最後まで使うという環境への配慮と、ものづくりの楽しさを組み合わせ、イベントなど校外での活動時にアピールできることから、看板を製作しました。

テーマ

「四季折々に心を込めて」



うさぎ 跳躍

モチーフの由来

桜 人生が花開く

朝顔 成長への願い

柿 実り多い人生

椿 厄除け

< つりびな >

つりびなの始まりは江戸時代といわれ、「衣食住に困らないように」「健康でありますように」などの意味が込められ引き継がれてきました。

古布を活用したつりびなは、使わなくなった帯を土台にして着なくなった着物地でモチーフを製作しました。